

第4学年 学級活動(3) 指導案

題材「なりたい自分になるために～掃除編～」 イ:社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 目指す子供像 考え行動する子 育成を目指す資質・能力「着地力」「創造力」「協働力」	日時 令和3年9月30日(木) 学年 第4学年 20名 指導者 田丸 亜紀
---	---

児童について

4月に2校が統合して半年が過ぎた。本学級は、明るく前向きに取り組む児童が多い。また、統合して新たな友達ともお互いに話したり遊んだりする様子も見られ、困っている友達には、そっとそばに行き、分からないところを優しく教え合う姿も見られる。4月には「なりたい自分」について考え、それに近づけるように、学期ごとに目標を決め、取組を進めている。中には「なりたい自分」が変わり、修正する児童やそれに向けての目標を調整する児童がいるが、そのことを意識していない児童も見られる。

学習の中では、変則的なグループ学習を仕組むことで、誰とでも課題に向かって学び合う姿が見られるようになってきた。しかし、自分の考えを伝えることが苦手な児童もおり、話し合い活動の際、発言する児童が固定化してしまう実態がある。もう一つの要因として、話し合う際、話の中心を捉えたり話し合いの見通しをもったりすることが難しいという学力の面での課題も見られる。来年度は高学年となり、委員会等で全校に発信していくことを見据え、堂々と自分の考えを相手に伝えることの大切さを意識しているところである。

本校では掃除を週に2回設定している。掃除のない日には、時々廊下や教室にごみや落とし物が落ちている様子が見られる。本学級の児童がこういった状況に気付き、どうにかしたいという児童の声が聞かれた。事前に掃除について調査したところ、次のような結果であった。

		人数(全20名)	理由
①	掃除が好き	14名	・きれいな環境にいたい。 ・掃除をするとすっきりする。 ・がんばるとうれしくなる。 ・ほうきやぞうきんが得意。
	掃除が嫌い	6名	・細かく掃除するのが難しい。 ・分別が苦手。 ・やる気が出ない。 ・掃除しない人がいる。
②	掃除が得意	9名	・楽しいし気持ちがいい。 ・好きだから得意になった。 ・決めたことはがんばれる。 ・ほうきが上手。
	掃除が苦手	11名	・ほうきとぞうきんが苦手。 ・やり方が分からない。 ・分別が苦手。 ・すぐに散らかってしまう。

それぞれの理由として、技能面と心情面に関わる理由が見られた。また、掃除が好きと答えた14名の児童の中で、掃除が苦手と答えた児童は8名であった。好きだけど、得意とはいえないと感じている児童が半数以上いることも分かった。自由記述には、「廊下をきれいにしたい」「ごみはごみ箱に捨ててほしい」「教室の角にごみが落ちている」「落とし物が多い」等の記述があり、課題意識をもっている児童が多い一方で面倒だからと適当にやってしまう児童がいるという実態も明らかになった。また、掃除の意義や掃除をすることのよさなどの理解が、まだ十分でないという実態も見られる。

題材について

本題材は、学級活動(3)イの内容をねらいとしている。働くことの意義を理解することや、多様性を認め合いながら、力を合わせて働いたり、学級や学校の生活の向上に貢献したりする喜びを実感すること、また、現在及び将来において所属する集団や地域の中で、その一員として責任や役割を担うことなど、社会参画意識の醸成につなげていくものである。本題材を学習するために事前に、特別の教科道徳で、働くことのよさや意義について考え

ておくことで、本時の学習がより深まるようにする。事前にとった児童アンケート結果から、課題を見だし、正しい掃除の方法を学んだ後、「なりたい自分実践 WEEK」で実践することで、学校や家庭、地域でも学んだ意義や技能を生かし、よりよい生活を実現する一歩となると考える。

本校では縦割り班ごとに掃除をしている。そこで、学んだことを他学年にも伝えたいという気持ちを引き出しながら、意欲的に学ぶこともできると考える。

本題材における児童の課題として、掃除の仕方（技能面）と、掃除の意義理解（心情面）に課題が見られたことから、ダスキンが小学校対象に作成している「掃除用具の正しい使い方」の映像を見て技能的な面を学ぶ。また、掃除を何のためにするのか、した後どんな気持ちになるのかにも触れることで、掃除の意義や働く喜びなどを考えさせていきたい。本題材は学校や家庭など様々な場面で生かしていける題材であると考えられる。

指導について

指導にあたっては、以下の点に留意する。

児童の実態から働くことの意義については、事前に特別の教科道徳で考えさせておき、本時と関連付けさせる。本時では、働くことの意義を土台として、主に技能面に焦点を当てて学ばせていきたい。その後、実践をしたうえで改めて学校の一員として、自分たちにできることはないかを考えさせ、力を合わせて働くことや社会参画意識の醸成につなげていきたいと考える。

「つかむ」では、自分たちを振り返りながら課題を見いださせるため、事前にとった児童アンケートの結果と理由を提示する。そこから自分たちの課題として、技能的な側面と心情的な側面があることをつかませたい。

「さぐる」では、きれいに掃除をした状態とはどういう状態なのかを共有させた後、掃除終了後にごみが残っていた写真を提示し、きれいに掃除をするためのポイントについて考え、クラゲチャートに整理させていく。

「見つける」では、ダスキンが作成している小学生向けの「掃除用具の使い方」について映像を鑑賞させる。その後、ぞうきん拭きとほうきのはき方について発見したポイントをグループでクラゲチャートに色を変えて加えさせていく。また、きれいに掃除した後、使う側もした側もどのような心情になるかに触れ、働くことの意義についてさらに深めさせたい。

「決める」では、新たに学んだことも土台にして、「なりたい自分実践WEEK」にどのように取り組むかを考え自己決定させる。目標を立てたら、自分がどのように取り組むかを友達に伝え、聞いた友達は、何をどのように取り組むかが明確でない場合は、アドバイスをさせる。実践 WEEK では、みんなが前向きに掃除に取り組むことができるよう、振り返りを行いながら実践させていきたい。また、掃除を通してなりたい自分になれるように力をつけていくことが意識できるように本時のワークシートを事前に行う道徳のワークシートと兼ねることで、学習のつながりを大切にさせたい。

評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生活するための課題に気付き、解決方法などについての課題	現在及び将来にわたってよりよく生活するために、見通しをもちたり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働

識や行動の仕方を身に付けている。	を知り, 解決方法などについて話し合い, 自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	して, 自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。
------------------	---	-----------------------------

指導計画

日時	学習活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
7月26日(月) 特活朝会	○掃除についてのアンケートをする。	・自由記述欄を設け, 生活の中での気づきを書かせる。	◎掃除の仕方を振り返り自己の課題に気づき, 解決方法などについて考え, 自己目標を決定している。【思】〈ワークシート・発言〉 ◎掃除の意義を理解し, 目標を達成するために必要な知識や技能を身に付けている。【知】〈観察・ワークシート〉 ◎自己目標達成に向けて実践している。【思】〈観察・ワークシート〉 ◎自分の掃除の仕方を振り返り, 目標達成への見通しをもって, 友達と協働しながら行動しようとしている。【態】〈発言・ワークシート〉
9月30日(木) 【本時】	*「本時の活動」参照		
10月5日(火) ～10月14日(木)	○「なりたい自分実践WEEK」に取り組む。	・毎回振り返りをさせ, 評価する。	
10月19日(火) 学級会(1)	○朝会で掃除の仕方などの学んだことを全校に伝える方法を考える。		
10月27日(水) 全校朝会	○掃除の意義や掃除の仕方について, 全校に伝える。		

本時の活動

(1)ねらい

自己の掃除の課題に気づき, 解決方法等について考え, 自己目標を決定することができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
つかむ	<p>1 事前の掃除アンケート2種類の結果から、好きだけど苦手と感じている人が多いという実態を知る。その理由について考えることを通して、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 結果からどんなことが分かりますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にとった掃除に関するアンケートを提示し、自分たちの課題を見いださせる。 本時でがんばることを決め、明日から実践していこうとする意欲を高める。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分を高めるために、正しい掃除の仕方について考えよう!</div>			
さぐ	<p>2 本題材の活動の見通しをもつ。</p> <p>3 掃除後にゴミが残っている写真(3カ所)から、自分の掃除について振り返り、掃除のポイントについてグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> きれいな状態とはどんな状態でしょう。 ゴミが残っている写真や普段していることをヒントに、きれいに掃除するためのポイントを話し合いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真の状況から自分たちに何ができるかを問いながら、課題追及に向けた意欲をもたせる。 「きれい」な状態とはどんな状態かを共有し、ポイントを整理させる。 ゴミが取りきれっていない原因をグループで考えさせ、きれいにするための掃除のポイントをクラゲチャートにまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> すみずみまではくこと 物を動かしてはくこと ぞうきんで角までふくこと </div>	
見つける	<p>4 「掃除用具の正しい使い方」を見て、自分が発見した掃除ポイントを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、新たに発見したポイントを赤で加えましょう。 掃除をすると、どんなよさがあるでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、気付いた新たなお掃除ポイントを記入させる。また発見したことを後で交流し、まとめて発表することを伝えておく。 掃除の意義についても再度想起させ、そのよさを理解できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ほうきはおさえばきをする 重ならないようにふく はいたりふいたりする順序を決める 使った後、ぞうきんをきれいに洗う </div>	
決める	<p>5 これから自分ががんばりたいことを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日学んだことを生かして、実践WEEKの目標を考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 見付けたよい掃除の仕方が反映されやすくなるよう、板書しておく。 	<p>◎掃除の仕方を振り返り自己の課題に気付き、解決方法などについて考え、自己目標を決</p>

6 決めたことを交流する。	<p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践 WEEK では、隙間なくふけるように習った順序でふくように頑張る ・ゴミが舞わないように、おすようにほうきではなく事がんばる <p>・ 実践意欲が高まるように肯定的に評価する。</p>	定している。 【思】〈ワークシート・発言〉
---------------	--	--------------------------

板書計画

「なりたい自分になるために～掃除編～」

④ **自分を高めるために、正しい掃除の仕方について考えよう!**

つかむ

さぐる

見つける

きめる

4年生掃除アンケートの結果

アンケート結果①

アンケート結果②

理由

理由

掃除後の様子

ゴミが残っている様子

ゴミが残っている様子

ゴミが残っている様子

掃除のポイント

児童がホワイトボードに書いた掃除のポイントを貼る。

新しいポイント

児童が発表したポイントをキーワードで板書する。

なりたい自分になるために

児童が発表した目標を書く。

学習の流れとゴールを記入